



学校だより

牧 野

高岡市立牧野小学校

平成 27 年 3 月 12 日

校長 岩坪 智恵子

6年生との別れを惜しむかのように肌寒い曇り空が続いています。

6日（金）にはこれまでお世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えようと、5年生が中心となり卒業を祝う会を行いました。はじめにステージの幕が開かれると、全校児童の手形で桃色に彩った大きな桜の木の絵が登場しました。その壁面を埋め尽くすほどの迫力に、思わず6年生から感動の声が聞こえてきました。続いて子供たちの創意が活かされた楽しいクイズやゲーム、劇、クラス毎に製作した大きな垂れ幕や呼びかけ等、みんなの心を込めた笑顔いっぱい集会となりました。リーダーとしてのバトンを受け継ぐ5年生の司会進行等、係の仕事に励む姿もしっかりとして見え、頼もしく思いました。



3月18日（水）には卒業式、24日（火）には修了式と、いよいよ今年度の教育活動を終える日が近付いて来ました。保護者の皆様や地域の方々には、これまで本校教育に温かいご支援・ご協力をいただきましたこと、お礼申し上げます。ありがとうございました。

- ・6年生に感動してもらえて良かったです。みんなが協力することは大切だということが分かりました。これからも、祝う会で下学年をまとめたことを、ボランティア隊や縦割り清掃の班長等、色々な活動でいかしていきたいと思います。みんなが楽しめるように中心となって引っ張っていききたいです。

（5年T・U）

- ・集会の名前どおり、6年生も在校生も笑顔あふれる集会で、楽しんでもらえたので良かったです。劇は不安だったけど笑ってもらえたのでうれしかったです。歌も一人一人が心を込めたら6年生が泣いてくれるほど心が伝わりました。みんなで力を合わせて協力したら素晴らしいものになるのだなと思いました。

（5年S・I）



寄贈のお知らせ

「ケアホームなかそね」「ケアホームまきの」等を運営しておられる（株）メディカルケア様より打楽器（ティンパニ）をご寄付いただきました。（株）メディカルケア様には、以前にも6年生が認知症等、高齢化と社会の有り様について考える機会を与えていただいております。楽器は音楽の学習を始め、音楽会や学習発表会の折に有効に活用させていただきます。ありがとうございました。♪ ♪ ♪

ようこそ「なかよしの会」へ 2月26日（木）

来年度小学校への入学を予定している、牧野みどり保育園と第五幼稚園の年長児さんを迎えて「なかよしの会」を行いました。1年生は、年長児さんに楽しんでもらおうと、生活科の学習に合わせて、段ボールのトンネル迷路や鬼退治の的当て、福笑いや色とりどりの剣玉やコマ等、たくさんの遊びに使う物を工夫して作りました。遊びのルールや大切なことをはりきって紹介する1年生の様子は、もうすっかりお兄さんお姉さんです。

子供の発達や学びの連続性を保障するためには、幼児期の教育と児童期の教育が円滑に接続し、体系的な教育が組織的に行われることが重要であると言われています。交流活動が園児の小学校へのスムーズな適応の一助となることを願っています。



卒業式に向けて

牧野小学校の朝は、どの教室からも子供たちの透き通るような美しい歌声が聞こえてきます。毎週水曜日の歌声タイムで上学年の歌を聴いてきたからでしょうか。1年生もとても柔らかい歌声になってきました。

下記の「明日へつなぐもの」は卒業式で1～5年の在校生が歌います。お子さんから聞かれて、ご家庭で一緒に歌ってみられてはいかがでしょうか。



「明日へつなぐもの」

作詞・作曲 梅野 知子

何も分からずに ただついていけばいいと
あまえてばかりの日々は
流れるように過ぎ去って
気が付けば季節はめぐり 風の匂いが変わる頃
君の言葉に励まされて 強くなれた自分がいた

共に過ごす時間は ずっと続くと思ってたけど
新しい扉を開けて 君は進んでいくんだね
旅立つ君の背中に 胸を張って誓うよ
僕らに教えてくれたこと 忘れはしないから

大きな後ろ姿に 早く追いつきたくて
夢中でかけ抜けた日々が
今では僕の宝物
気が付けば季節はめぐり 空は青く澄んでいた
君の言葉にうごかされて 人に優しくなれたんだ

共に過ごす時間は ずっと続くと思ってたけど
新しい道を信じて 君は進んでいくんだね
旅立つ君の背中に 胸を張って誓うよ
僕らに残してくれたもの 明日へつなげるから

忘れない（君の笑顔）

いつまでも（君の言葉）

ありがとう 君の勇氣

忘れない（君の涙）

いつまでも（君の思い）

ありがとう 君のすべて

～6年生との楽しい思い出づくり～

サッカー大会、ドッジボール大会と、牧野っ子ボランティア活動「元気MAX（マックス）運動隊」の子供たちは、これまでに全校児童が参加できる楽しい大会を度々計画し、みんなを楽しませてくれていました。6年生対教職員チームの親善試合も行っています。かつてはスポーツ少年少女だった教職員チームですが、結果はいつも6年生に華を持たせる形で終わっています。

先日、卒業を控え、6年女子数名からビーチバレーの試合の申し込みがきました。「人生の厳しさを教えよう」という職員室に笑顔を誘う教頭先生のかけ声のもと試合に臨みました。さて結果は・・・。